

(肝属郡垂水市柗原柗原下)

位置と環境

遺跡は市街地から南東側に約5km離れた、台地間に扇状地状に広がる沖積平野と海岸線の間にある標高約7mの小微高地上(旧JR大隈線鉄道跡地)に立地している。遺跡周辺には約1.6kmにわたって遺跡が広範囲に所在する柗原遺跡群として知られており、現海岸線から約300m離れている。

調査の経緯

個人住宅の建設に伴って、垂水市教育委員会が平成7年度に確認調査を実施した。(約95m²)

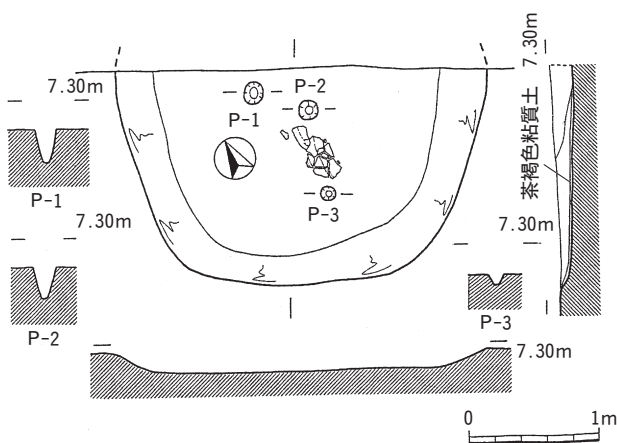
また、平成9年度・10年度には垂水市教育委員会が農免農道整備事業に伴う本調査を実施した。(約2,300m²)

遺構と遺物

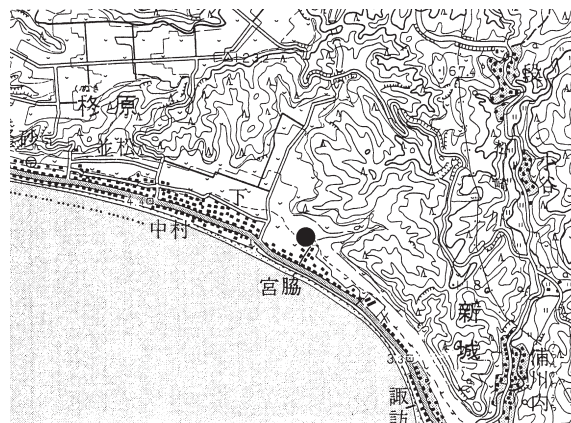
平成7年度の調査では、縄文時代前期・中期・後期・晩期、弥生時代、古墳時代、中世の遺構や遺物が発見された。

調査の結果、縄文時代晩期の竪穴住居跡が2軒と、人骨を伴う土壇墓が2基検出されている。このうち、2号土壇墓より出土した人骨は、ほぼ完全な屈葬人骨であり、熟年男性と考えられている。

遺物は、市来式・西平式・上加世田式・黒川式等の縄文土器、弥生土器、古墳時代の成川式等の土器と、石鏃・石匙・石斧・磨石・敲石・石皿・研石・石錘等の石器が出土した。



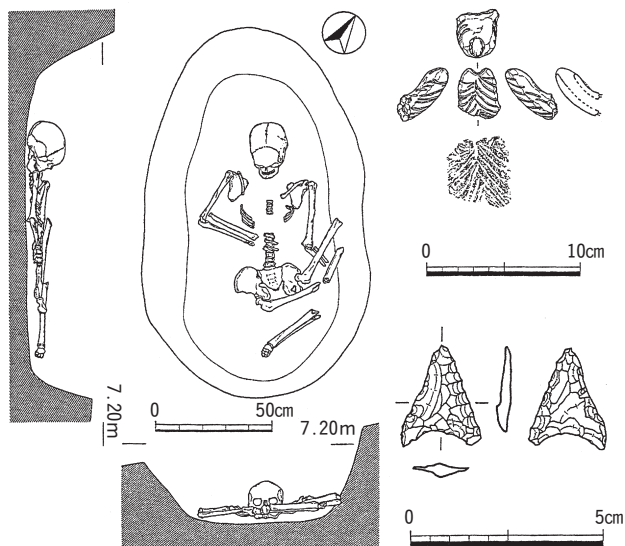
第2図 2号竪穴住居跡 (H7年調査分)



第1図 柗原貝塚の位置

平成9年度・10年度の調査では、縄文時代後期・晩期、古墳時代の遺構や遺物が発見された。

遺跡の中央部には約500m²において貝塚が残存していた。厚さは約1.1mであったが、これは旧JR大隈線鉄道造成時に削平を受けたと考えられ、実際はもっと厚く堆積していたと想像される。柗原貝塚は台地上に積み上げるタイプの貝塚で、保存状態は非常に良好であり、貝殻のカルシウム分により通常の遺跡では腐敗してしまい残存しない骨角器・獣骨・魚骨・種子等が残存していた。この貝塚は試掘溝をあけただけで、現状保存という形で埋め戻したのだが、この試掘溝により南方から北方に約20度傾斜していることが確認され、当時の人々が南方から北方へ貝等を廃棄していたと考えられる。また、貝



第3図 2号土壇墓
(H7年調査分)

第4図 出土遺物
(H7年調査分)

塚の周辺には、直径約50cm～約2mの円錐形・楕円錐形に廃棄された貝殻がブロックにまとまったもの数十基が点在していた。

調査で確認された主な遺構としては、2基の土壇墓が挙げられる。これは、いずれもほぼ完全な人骨を伴うもので、1体は20歳前後の男性（縄文時代後期）、もう1体は30代の女性（縄文時代晩期）のものと考えられている。また、縄文時代後期の遺構として、竪穴状の遺構が発見されたが、竪穴住居跡であった可能性もある。そのほかに、古墳時代の遺構として、8棟の柱穴からなる掘立柱建物跡も見られている。

縄文時代後期から晩期にかけての遺物として、獣骨（大半を占めたのはイノシシ・シカで、ほかにツキノワグマ・オオカミ・タヌキ・イルカ・ニホンザル等。また、2体の犬骨が発見されたが、体のほぼ全ての部位が確認され、埋葬された可能性もある）、魚骨（チダイ・クロダイ・カツオ・エイ等）、種子（ドングリ類）、貝殻（マガキ・アサリ・ハマグリ等の二枚貝のほかに、巻き貝の一種であるマガキガイが多く出土した）、糞石といった自然遺物が検出された。指宿式・市来式・鐘崎式・西平式・三万田式・御領式・上加世田式・入佐式等の縄文土器のほか、獣形土製品、獣形取手付土器、円形土製品等が見られ、石鏃・石錐・石匙・石核・スクレイパー・打製石斧・磨製石斧磨石・敲石・石皿・石錘等の石器、管玉・勾玉等の石製品、岩偶・石棒・陰石・獣形・船形等の軽石製品（長軸約65cm・短軸約55cmの巨大な石皿

状のもの、直径約30cmの環状のもの、釣り針状のもの、シカの中足骨に酷似したもの等本県では類例のないものも見られた）、貝輪・垂飾品・小玉・刃器等の貝器、釣針・髪針・耳栓・刺突具・装飾品・牙斧等の骨角（牙）器といった人工遺物が多量に出土した。また、古墳時代の遺物としては成川式土器が出土している。

特徴

貝塚は、通常の遺跡では腐敗してしまい残存しない骨角器・獣骨・魚骨・種子等が残存している貴重な遺跡であるが、本遺跡は貝塚が大規模で保存状態が良好である。また、多種多様な情報量が包含されており、その資料性は極めて高いといえるであろう。

貝塚のほかに、竪穴住居跡、墓地などの遺構も見られており、当時の生活を考える上で貴重な遺跡である。

また、発見された遺物も、埋葬された可能性のある犬骨、岩偶を始めとする大量の軽石製品、獣形土製品等貝塚を残した人々の精神性を伺わせるような遺跡性格が知られ貴重である。

資料の所在

出土遺物は、垂水市教育委員会に保管されている。

参考文献

垂水市教育委員会1996「柊原貝塚」『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書』1

垂水市教育委員会1999「柊原貝塚」『垂水市埋蔵文化財発掘調査報告書』4

（羽生文彦）



写真1 柊原貝塚（貝塚に隣接している二階建ての住宅がH7年調査の起因となった個人住宅）

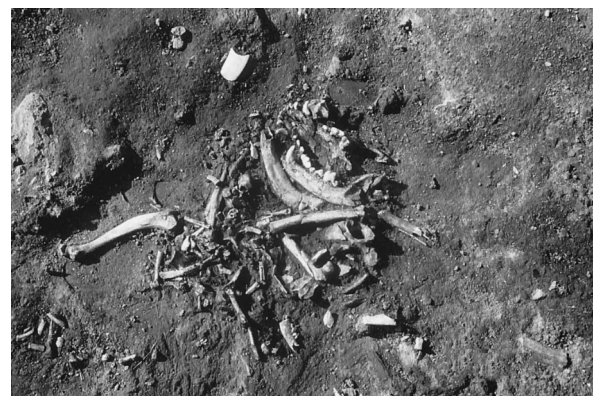
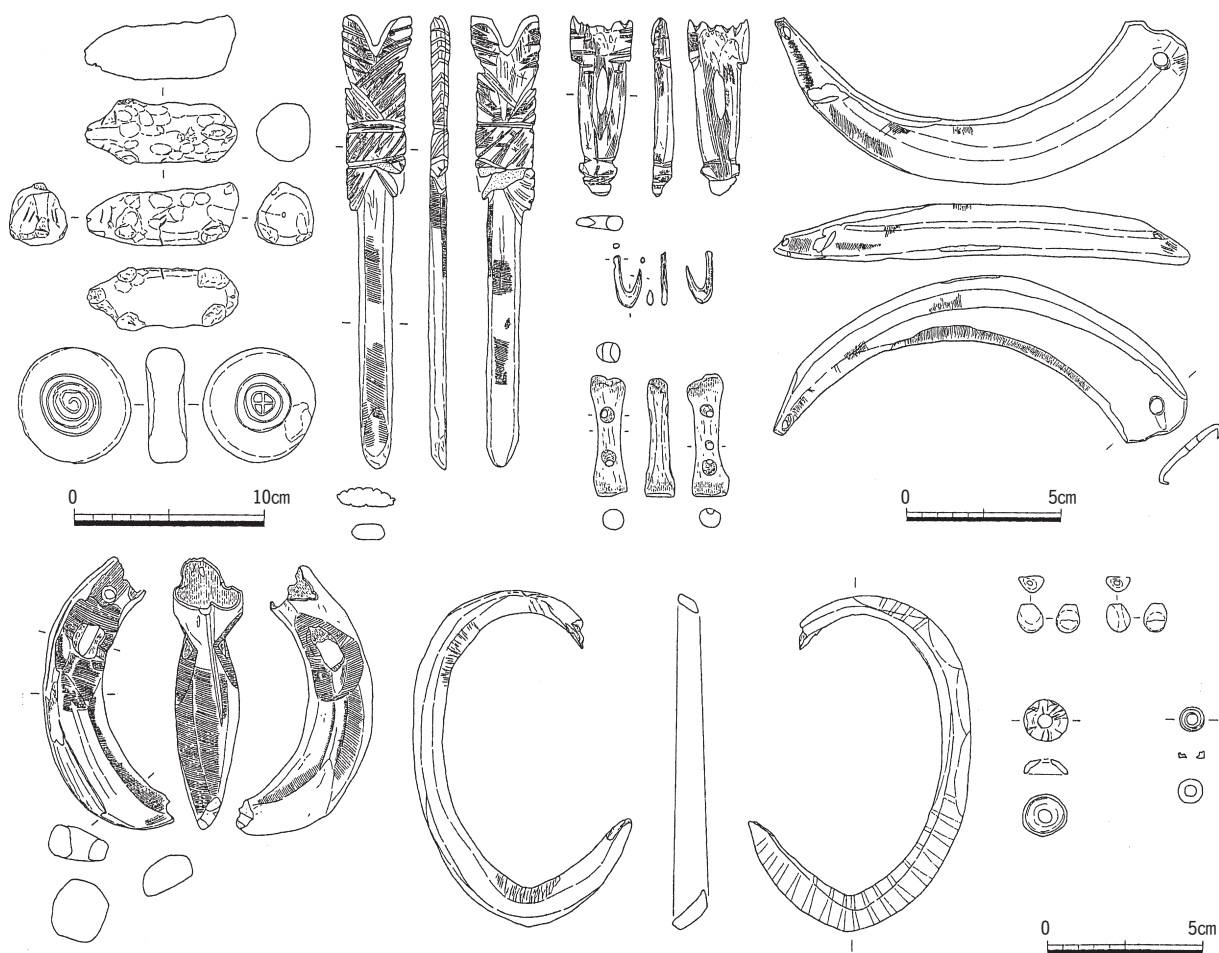
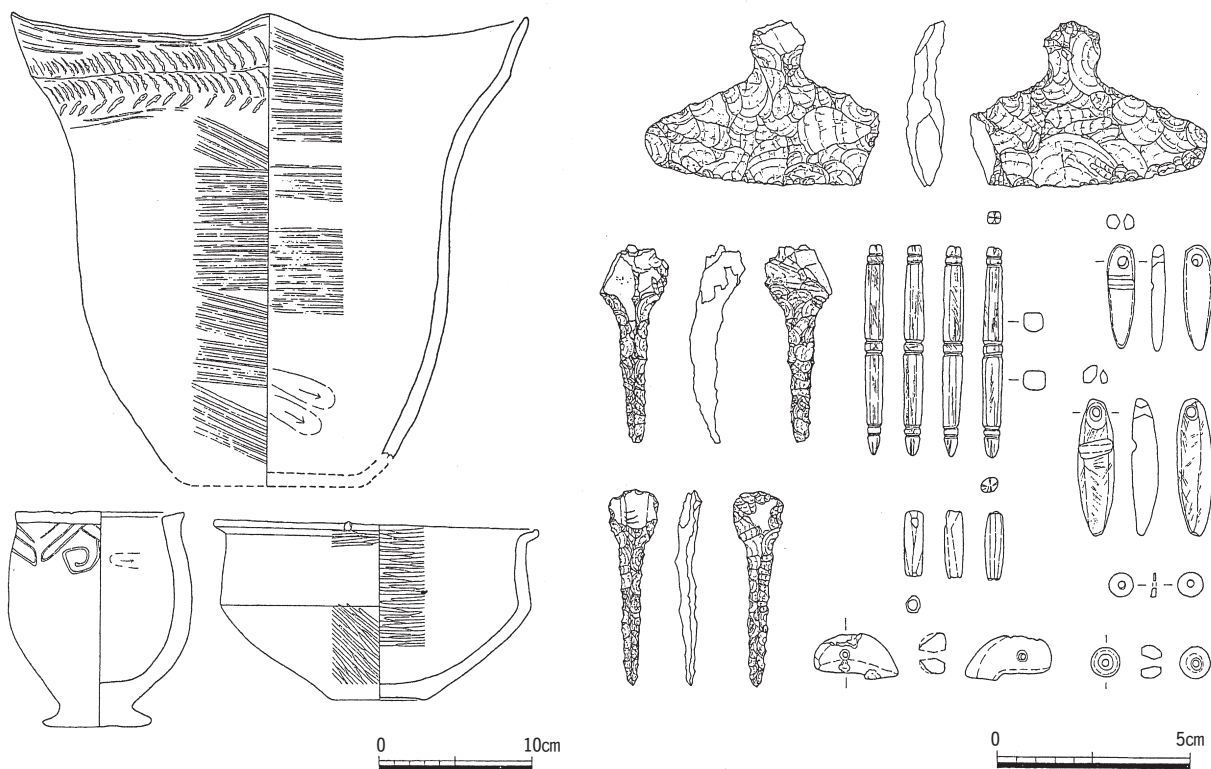
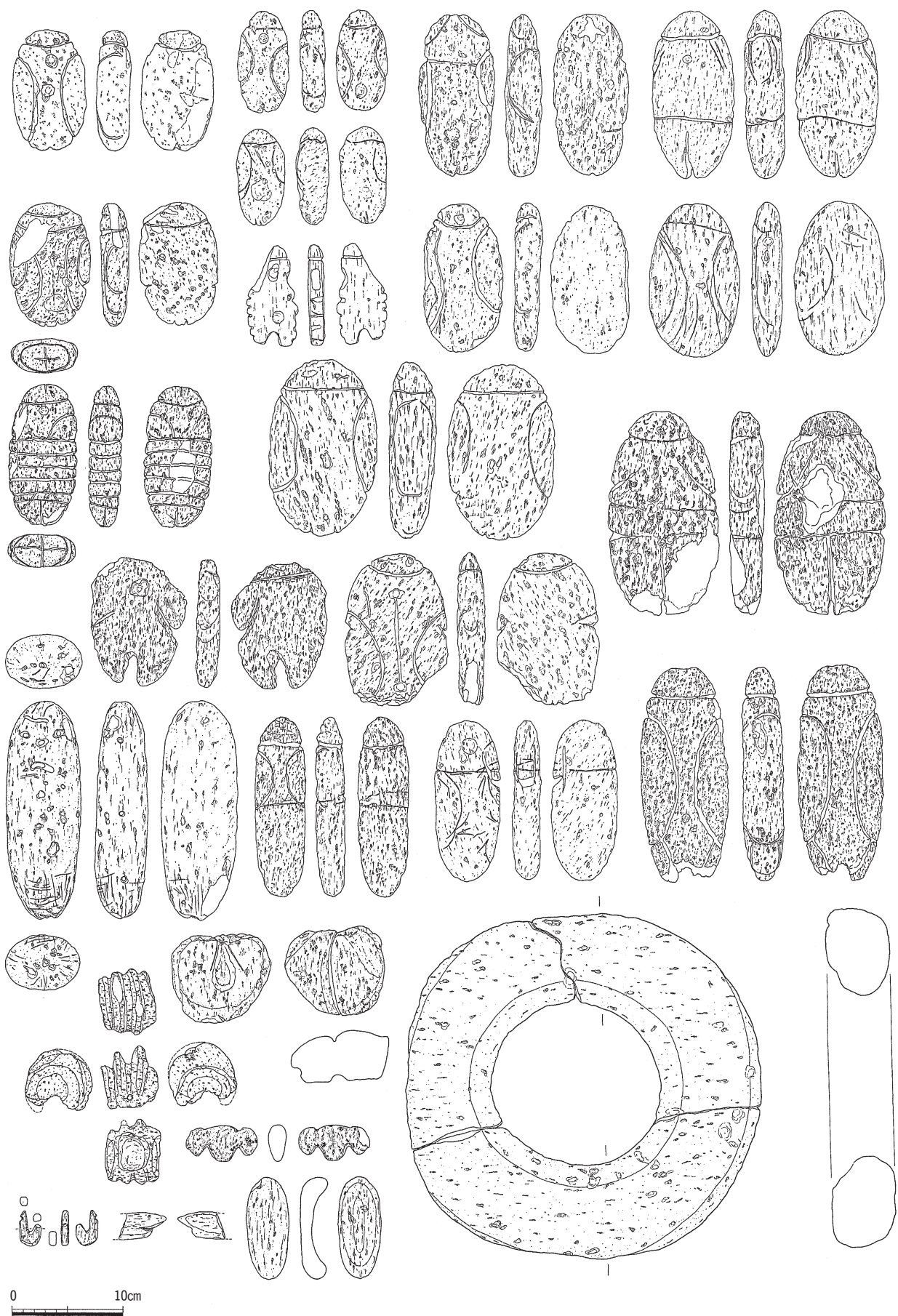


写真2 埋葬された可能性のある犬骨



第5図 出土遺跡 (H 9・10年調査分)



第6図 出土遺物 (H 9・10年調査分)